

海軍中佐木山漸編輯
改正船具運用教授書

卷五下

5
11
170

東 京 圖 書 館				
一 冊	七 〇 号	三 架	五 函	屬 類

五
〇
七

明治十五年六月刊行



改正船具運用教授書卷之五下

目次

第五教

錨索ノ解搦及ヒ錨ノ運搬法

錨索ノ解搦法

錨ニ搦マリタルケイブルヲ解ク法

錨ノ運搬法

ケツヂ、エンコル運搬法

ストリーム、エンコル運搬法

ボリア、エンコル運搬法

三 上手廻及ヒ下手廻ノ法等

上手廻及ヒ下手廻ノ法

上手廻ノ法

下手廻ノ法

上手廻ノキ廻轉ヲ誤リタルキノ法

風ノ急變或ハ舵負ノ怠慢ニ由テ裏帆ヲ打

チタルキビールヨリ下手廻ハシノ法

運用良善ナラスシテ裏帆ヲ打チタルキ逆ボク

廻轉シタキツスル

逆引ボクス、ホーリン法即チ下手ワイヤ、シヨルト、ラオンド小廻法

捨錨クラブ、ホーリン上手廻法

蹴ホーブツ躪ブツ法

順フイル、エウエ廻エウエ盈風ノ法

改正船具運用教授書卷之五下目次終

改正船具運用教授書卷之五下

海軍中佐正六位 勲五等 本山漸 編輯

第五教

二 錨索ノ解擲及ヒ錨ノ運搬法

錨索ノ解擲法

雙錨ヲ以テ泊スルキ其ケール互ヒニ相離レテ擲
 マル_レナキ片ハ之レヲクリトルホ_レズ正ト云フ然
 レ_レム_レリ_レング_レス_レウ_レイ_レブル_レヲ用ヒサレハ動モスレ
 ハケール相擲マル_レアリ之レヲフオウルホ_レズ正ト云フ而
 ト云フ而_レ此擲マリヲ解キテ奮ニ改復スル_レヲク

リリーディングス、ホーズ解鎖ト云フ此「フ」オウル、ホーズノ由テ起ル所以ハ風潮ノ為メニ船振レ回ハルニアリ即チ風潮反對ノ方向ニ變シテ船半圈ヲ畫スル片ハ「ゲ」ケーブル互ヒニ交リテ十字形ヲナス之レヲ「ク」クロスト云フ此時振レ回ハリタル方ノ「ケ」ケーブルハ下ニナリテ他ハ上ニナルナリ而ノ再ヒ奮ニ復サス風潮ノ變スルニ從ヒ尚前ノ如ク同方ニ振レ回ハリテ他ノ半圈ヲ畫スル片ハ「ゲ」ケーブル一田擲マルナリ之レヲ「エ」エルボト云フ尚同方ニ一田擲マレハ「ラ」オンドタルニ「エ」エンド「エ」エルボト云フ尚且ツ三田擲マレハ「ラ」オンドタルニ「エ」エンド「エ」エルボト云フ尚且ツ三田

ナリ 第二百二十六圖

右ノ如ク「チ」チェーン、ケ「ブ」ケーブル擲マリタル片之レヲ解正スルノ法ハ左ノ如シ
 擲マリタル部水中ニアラハ「ラ」ライジング、ケ「ブ」ケーブルラ卷キテ之レヲ水上ニ顯出セシメ而ノ「ハ」ハン、ラ「イ」ライジング、ケ「ブ」ケーブルノ擲マリタル部分ノ下ニ「ク」クリール、ホ「ズ」ホーズ、シ「ヤ」ヤックルハ第二百二十ハ圖甲乙ニ十ヲ置キアウタル、ホ「ズ」ホーズ、ホ「ズ」ホーズ、シ「ヤ」ヤックルヲ通シテ再ヒ其端ヲ「ア」アウトルホーズ、ホ「ズ」ホーズヨリ船内ニ引入レテ之レヲ固定シ
 諸「ホ」ホーズヲ引キ或ハ「ケ」ケプステンニテ卷キ「ク」クリール

遊船集選用部抄書

卷五

二

海軍部抄書

ル、ホーズ、シヤツクルヲ緊張シテ以テ此シヤツクルヨリ
上方ノケーブルニ弛ミヲ附ケ、ライジングケ
ブルト同方ニ於テボースプリットニ取附ケタルリ
ジング、ブロックニブルロープヲ通シ其端ヲホーズ、ホ
ールニ通シテジョアイニング、シヤツクルヨリ前方適宜
ノ處ニ固結シ且ツライジ、ホーセルヲジョアイニング、
シヤツクルノ近處ニ固結シホーズ、ホールノ内ニテジョ
アイニングシヤツクルノ前部ニスリップ、ストップパ
ルヲ掛
ケコムプレスリルヲ弛メケーブルヲ繰上ケテ弛ミ
ヲ附ケ而ノ後之レヲ解脱スヘシ已ニ用意整フタラ
ハスリップ、ストップパルヲ外ツシライジ、ホーセルヲ繰弛

メブル、ロープヲ引イテホーズ、ホールヨリケーブル
ヲ引出タシ已ニケーブルノエンドホーズ、ホールヲ
離レテホーズニ備ヘタル端船ヨリ之レニ届ク程ニ至
ラハライジ、ホーセルヲケーブルヨリ解キ解擲セン
ト欲スル捻レニ反對シテ之レヲライジング、ケーブ
ルニ回ハシ再ヒライジ、ホーセルヲケーブルノ端ニ
固結シ而ノライジ、ホーセルヲ引イテケーブルノエ
ンドヲ船内ニ引込ミブル、ロープヲ解キテケーブル
ノ擲ラミヲ解クヘシ此ノ如クシテ一度ニ一捻レツ
、解擲スルヲ得ルナリ故ニ若シケーブルニ二三
絡ノ擲ラミアルハ再ヒブル、ロープヲ固結シライ

ジホーセルヲ解キ反對ノ向キニ回ハシテ固結シ解
搦スルノ前ノ如ク再三ナスヘシ〔第二百二十七圖〕
已ニ解搦シテ兩條ノケーブル全ク相離ル、片ハケ
ーブルヲ鎖住シテ之レヲ緊張シコムプレスソルヲ
締メデッキストッパルヲ掛ケクリール、ホーズ、シヤックル
ヲ外ツシテ之レヲ船内ニ收入スヘシ
又「ホーセル及ヒクリール、ホーズ、シヤックルノ代リニ
一節ノストリーム、チエーンニスリップロヲ接シテ之レヲ
用ユル」アリ其法「アウタル、ホーズ、ホールヨリスル
プロ出タシ」ケーブルノ搦ラミタル部分ノ下ニ之レ
ヲ掛ケ船内ニアル「ストリーム、チエーン」ノエンドヲメ

スセンゼルニ合結シ或ハ「テークル」ヲ仕掛ケテ之レ
ヲ緊張シ以テ「スリップロ」ヨリ上方ノ「ケーブル」ニ撓ミヲ
附ケ其他「ラーシ、ホーセル及ヒ「ブル、ロープロ」ヲ用ユル
「前法」ノ如クナスヘシ
ニ「ケーブル」ヲ搦マリテ「クロース」ヲナセル片「抜錨セン
ト」欲スルキハ先ツ下方ノ「ケーブル」ヲ卷揚クヘシ然
ルニ若シ上方ノ「ケーブル」ヲ最初ニ卷揚ルキハ「エン
コル」下方ノ「ケーブル」ニ鈎觸スルノ害アル「ア」リ故
ニ時ニ由リ上方ノ「ケーブル」ヲ最初ニ卷揚ケント欲
スルキハ下方ノ「ケーブル」ヲ弛メ「エンコル」ヲ替ハシ
テ後卷揚クヘシ

錨ニ搦マリタルケーブルヲ解ク法
エンコルニケーブルノ搦マリタルヲフオウル、エンコ
ル錨ト云フ此搦マリヲ解クヲクリーリング、フオウ
ル、エンコル解正ト云フ
エンコルノフリーク最初ニ揚ルキハエンコルノク
ラオン或ハフリークノ周リニフオウル、エンコル、スト
ロップヲ掛ケカットヲ之レニ鉤シ而ノエンコルヲ釣リ
揚ルノ常ノ如クナシボラド、ヘッドノボルトヨリホ
ーセルヲ出タシサム、クリートノ上ヘヨリエンコル
ノクラオンノ周リニ掛ケテカット、ヘッドニ之レヲ固定

シ「ホーセルヲ緊張シテ之レヲ巻留メカット、フオールヲ
繰弛メテ以テエンコルノ重サヲホーセルニ擔ハセ
フオウル、エンコル、ストロップヨリカットヲ外ツシ且之レ
ヲ繰越シテエンコルノリングニ鉤ケ直シカット、フオ
ルヲ緊張シ同時ニホーセルヲ繰弛メテエンコルヲ
カットニテ釣りホーセルヲ引抜キリング、ロープヲ以
テ搦マリタルケーブルヲ解キ離シケーブルノ弛ミ
ヲ繰込ミ而ノ後通常ノ如クワイシヲ以テ釣り揚ケ之
レヲ固定スヘシ又ストックニスリエー、ロープヲ取附ク
ルキハ搦ミヲ解ク為メ大ニ便アリ
若シストック或ハジャンクノ周リニケーブルノ搦マリ

テ「エンコル」揚リ而「リング」ニ「カット」ヲ鈎ケ難キハ「ストック」ノ周リニ「フオウル」エンコル、ストロップヲ掛ケ之レニ「カット」ヲ鈎シテ「エンコル」ヲ鈎リ揚ケ「エンコル」ノ「リング」ニ「カット」ヘッド、ストッパルヲ通シテ之レヲ固定シ「カット」ヲ弛メテ以テ「エンコル」ノ重サヲ此「ストッパル」ニ擔ハセ「カット」ヲ外ツシ「ストロップ」ヲ取外ツシ「リング」ノ「ストロップ」以テ掬マリタル「ケーブル」ヲ替ハシ或ハ「解脫」シテ之レヲ解キ而ノ後通常ノ如ク「フィシ」ヲ以テ鈎リ揚ケ之レヲ固定スヘシ

「フオウル」エンコル、ストロップハ通例「ラージ」セルベジ、ストロップナリ但シ時ニ「ロープ」ストロップヲ用フル

モアリ

錨ノ運搬法

錨ヲ運搬スルニ方リ端船ヲ用フル片ハ運搬ノ為メ無用ノ櫓橈等其他動カシ得ヘキ属具ハ凡ヘテ之レヲ本船ニ送致スヘシ若シ其使用急速ヲ要シテ之レヲ送致スルノ暇ナキ片ハ「ラムバル」アイロニ附ケタル「トキ」ニ之レヲ收納スヘシ但シ「コ」ニ收納スルモ差支アル片ハ端船外ニ投置シ他ノ端船ヲシテ之レヲ拾取ラシム

ケツヂ、エンコル運搬法

ケツヂ、エンコルノ運搬ニハピン子ス或ハカトルラ用ケ而メエンコルヲ端船ニ下スニハボルトニテークルヲ用ヒ其ローアブロックヲエンコルノヘッドニ掛ケタルストロップニ釣シ之レヲ引張リテエンコルヲ繰下ケエシコルノリングニ細索ヲ通シ之レヲステルンニリング、ボールト或ハアタルスウォールトニ綁着シテ端船ノステルン外ニストックヲ平ラニ當テ、直垂スヘシ而メ端船ニ下ス前ニハグーイ、ロープヲクラオシニ固結スヘシホーセル即チゲイブルモ同時ニ其端船

内ニ於テスウォールトノ上ニ縮子橈ヲ漕ク為メニ餘地ヲ殘シ置キ其前端ヲエンコルニリングニ固定スヘシ

ケツヂ、エンコルヲ運搬スルハ通常エンコルヲ投シテ本船ニ漕戻リナカラゲイブルヲ繰遣ルモノナレ氏時ニ又本船ヨリ離レ出テナカラゲイブルヲ繰遣ルトモアリ但シ端船逆潮或ハ逆風ニ向テ本船ヲ發出スルハ漕戻リナカラゲイブルヲ繰遣ルヲ良トス

本船ニ漕戻リナカラゲイブルヲ繰遣ルハ前ノゲイブルヲ縮ヌルハ其内端數尋程ヲボイノ處ニ別ニ

縮子置キ以テ本船ニ取入ル、為メニス
「エンコルヲ投下スルニハ何レニ於ケルモ本船ヨリ
ノ距離ニ應シ能ク其「ホーセル」ノ長サニ注意スヘシ
「ボーア」エンコルヲ釣リタル「ラン」ヲ引出サンカ為
メニ「ケツ」ヲ運搬スル片ハ「ボーア」エンコルヲ投スヘ
キ地位ニ至リ輕測鉛ヲ投シテ深淺ヲ測定シ其地位
ヲ標スル為メニ重測鉛ヲ投シ而メ「ケツ」ノ引ケサル
為メ其地位ヨリ前ノ方ヘ充分離レテ之レテ投下シ
以テ「ラン」ヲ引出シ「ボーア」エンコルヲ投シタル片
其「ケーブル」ヲシテ適應ノ度ニアラシムヘシ

ストリーム、エンコル運搬法

ストリーム、エンコルノ運搬ニハ「ラン」及ヒ「ピン」子
「ス」ヲ用フ而シテ之レヲ端船ニ下スニハ「ヤード」、テ
クル、ペンデント「ト」ヲ「ヤード」ノ「クォートル」ニ綁着シテ「ツ
チ」ングヨリ少シ外方ニ垂ル、様ニナシ「ボル」ト「ン」テ
用スル「」且ツ「エン」コルヲ下スニ方リ「ス」リ「ン」グノ「ス
リ」、スパン或ハ三個ノ「ストロップ」ヲ「フリーク」トリ「ン
グ」ニ掛ケ以テ「エン」コルヲ水平ニ釣り置キ之レニ「ヤ
ード」、テ「クル」及ヒ「ステ」、テ「クル」ノ「ローア」、ブ「ロク」
ヲ釣りスヘシ借端船上ニハ「ア」フタル「ス」ウ「ォール」トノ上
ニ二條ノ「ケ」プ「ス」テン「バー」ヲ縦ニ置キ其前端ハ互ヒ

ニ之レヲ綁着シ其後端ハ「ステルン」ヨリ外方ニ突出シ「ラダ」ヲ取外ツシ「ステルン」オールヲ用意シ揚錨ノ為「ラフ」ストロップ及「ビッ」ヲ備へ且ツ測定ノ為メ測鉛線ヲ用意スヘシ已ニ用意整フタルハ「メイ」ヤード、テークル及「ステ」テークルヲ以テ「エン」コルヲ釣揚ケテ之レヲ舷外ニ出シ端船ニ下シテ之レヲ「ケ」プステン「バ」ノ上ニ縦架シ「ストック」ヲ横ニ平置シ「フリ」ユークヲ「ステルン」ノ外ニ直垂ニアラシメ細索ヲ以テ二處ヲ綁着シ以テ「エン」コルヲ固定ス即チ一ノ綁索ハ「ステルン」リング、ボールトヨリ「ジャンク」ニ掛ケ他ハ船底ノ「リング」、ボールトヨリ「ストック」ノ

前方或ハ其兩部ニ掛クヘシ而メ常ノ如ク「ブ」イ、ロ「プ」ヲ用意スヘシ又「エン」コルノ「グ」ラオシニ「ブ」ロックヲ括着シ之レニ「ブ」イ、ロ「プ」ヲ「ダ」ブルニ通ス片ハ揚錨ノ為メ便アリ又一條ノペンデン「ト」ヲ備へ置キ其一端ヲ「ジャンク」ノ下部ニ括着シ他ノ一端ヲ「ケ」ブル或ハ「エン」コル、リングニ結留メ置キ「エン」コル揚リ来ル片之レヲ採リテ引張レハ「ゲ」ブル而已ヲ以テスル片ヨリ水外へ高ク上ケ得ルノ便アリ「スト」リーム、エン「コル」ニハ通常「ヘ」ム、マ「ケ」ブルヲ用ヒ端船ノ内周ニ於テ「ス」ウォールトノ上ニ縮子成ル丈ケ「オ」ールヲ漕クニ差支ヘナキ程餘地ヲ残シ置クヘ

シ
ストリーム、トエーンヲ用フルキハエンコルヲ一端船
ニ置キケイブルヲ他ノ端船ニ置キ投錨ノキエンコ
ルヲシテ海底ニ達著セン為メ充分ナル程ノ「ケーブ
ル」ヲ端船ノ外周ニ結留ムヘシ然ラサレハ走出ノ為
メニ「ガンウエール」ヲ破損スル「ア」リ但シ端船ノ大サ
充分ナルキハ「エンコルト」ケーブルヲ同端船ニ積置
ク「ア」リヘム「プ」ケーブルニ於ケルモ之レヲ端船ノ
外周ニ結留ムレハ最モ良ナリ
端船ヲ以テ「エンコル」ヲ運搬シ已ニ投下スヘキ地位
ニ至ルキハ「ブレイ」ヲ放流シ且ツ「ケーブル」ノ走出ヲ

差支ヘナクシ「ゲプステン」バ「」ノ前端ヲ舉揚シテ「エ
ンコル」ヲ投下スヘシ
端船ニストリーム、エンコルヲ安置スルニ前記ノ如
ク「縦架」フォール、エンスル法ノ他又「横架」エスワルスル
法アリ其法「ゲプステン」バ「」ニ條ヲ縦置シ其上ニ「シ
ヤンク」ヲ横架シ一方ノ「ガンウエール」ノ外ニ「ブリュ」ク
ヲ縦置シ他方ノ「ガンウエール」外ニ「ストック」ヲ横接シ而
シテ「ストック」ノ「ア」フタル「ア」ムノ周リニ細索ヲ掛ケテ
「ステル」ニ「リング」ボールトニ之レヲ綁着シ且ツ「シヤ
ンク」ニモ細索ヲ掛ケテ之レヲ船底ノ「リング」ボール
トニ綁着スヘシ

第二百三十圖

縦架ノ法ハ短錨ニ良トス但シ此法ニテハ「ラダ」ヲ脱
シテ「スチール」オールヲ用ヒサルヲ得サレモ横架ノ
法ニテハ投錨ノ前迄ハ「ラダ」ヲ用ヒ「アフタル」オール
ヲ漕ク「ラ」ヲ得ルナリ
又「クッド」エンコルノ如ク「ステルン」ノ後部ニ「ラダ」ヲ脱
ツシテ直垂ニ置ク「ラ」アリ但シ淺水ニハ便ナラス
「エンコル」ニテ「テークル」ヲ釣スル為メ前ニ記シタル「ス
リング」ノ「スリ」スパン或ハ三個ノ「ストロップ」ノ他又
單索ノ「スリング」ヲ用ユル「ラ」アリ是レハ一端ニ「ラン
子」ニ「アイ」ヲ備ヘ之レヲ「ジャンク」ニ嵌メテ「クラオン
ノ處」ニ摺下ケ他ノ一端ヲモ「ジャンク」ニ掛ケ「ストック

ニ近接シテ括著シ而メ「スリング」ノ「バイト」ニ「シム」ブ
ルヲ括入シ以テ「ステ」及ヒ「ヤード」テークルヲ釣ス
ル為メニス又「スリング」ノ「ラン子」ニ「アイ」ヲエンコル
ノ「リング」ニ嵌メテ「ストック」ト「リング」ノ間タニ摺下ケ
他ノ一端ヲ「ジャンク」ニ掛ケ「クラオン」ニ近接シテ括
著スル「ラ」モアリ
又「エンコル」ヲ水平ニ釣ラス「リング」ニ「エンコル」スト
ロップヲ掛ケテ直垂ニ釣り下クル「ラ」モアリ斯クノ如
クシテ端船ニ下クル「クハ」フ「リューク」ニ短索ヲ掛ケ船
底ノ「リング」ボルトニ通シテ之レヲ扣ヘ前記ノ法
ニ由リ「エンコル」ヲ縦或ハ横ニ架スヘシ

扱下シタル「ストリーム」ヲ揚クルニハ「ラン
 チ」ノ「ステルシ」ダビット「ヲ装置シ其上端ノ「ローレル」ニ
 「ケーブル」ヲ掛ケニ組「ヲ」テ「フ」テ「イク」ル「ヲ」用ヒ其「ダブ
 ル」ブ「ロック」ヲ「ケーブル」ニ「釣シ」其「シング」ル「ブ」ロック「ヲ」端
 船ノ「ボ」ニ「釣シ」代「ル」一組「ヲ」引「キ」一組「ヲ」摺「下」ク
 ヘシ若シ土中ヨリ「錨」ヲ「抜」キ「難」キ「ハ」一組「ノ」ラ「フ」ヲ
 他「ノ」ラ「フ」ノ「フォール」ニ「釣ス」ヘシ「己」ニ「揚」了「リ」タル「キ」ハ
 之「レ」ヲ「ステルシ」ニ「懸置」ク「ヘシ」

ボニア、エシコル運搬法

ボニア、エシコル「ヲ」運搬スル法ハ「數般」アリ「左」ニ「記載」

ナル諸法ヲ以テ最モ適良ノモノトス

其二

トラン「ク」ヲ「備フル」端船ニ於テ其底下ニ「一」ブ
 リュー「ク」ト「ストック」ヲ以テ「ボ」ニア、エシコル「ヲ」釣「リ」ブ
 リュー「ク」ヲ「直垂」ニ「ナシ」ストック「ヲ」水平ニ「ナス」モノ「第」二百
 三十一圖

其三

トラン「ク」ヲ「備フル」端船ニ於テ其底下ニ「兩」ブ
 リュー「ク」或ハ「ク」ラ「オン」ヲ以テ「ボ」ニア、エシコル「ヲ」釣「リ」
 ブリュー「ク」ヲ「水平」ニ「ナシ」ストック「ヲ」直垂ニ「ナス」モノ「第」
 二百三十二圖

其三

二端船「ヲ」並列シテ其間「タ」ニ「ボ」ニア、エシコル
 「ヲ」釣「ル」モノ「第」二百三十三圖

其四 淺水ノ處ニテ端船舳艦ノ間タニボリアエン
コルヲ釣ルモノ(第二百三十四圖)

其五 トランクヲ備ヘサル端船ニ於テ其底下ニボ
リアエンコルヲ縦ニ釣リフリュークヲ水平ニナシス
トックヲ直垂ニナスモノ(第二百三十五圖)

其六 トランクヲ備ヘサル端船ニ於テ其底下ニボ
リアエンコルヲ横ニ釣リストックヲ一方ニ直垂ニナ
シフリュークヲ他方ニ水平ニナスモノ(第二百三十六

圖) 其七 スパンヲ以テボリアエンコルヲ釣ルモノ(第
二百三十七圖)

第一法 先ツ施業ノ為メランチヲ準備ス即チトラン
ク「ウインドラス」及ビ「ダビット」ヲ各自其位置ニ据ヘテ之
レヲ固定シ「ラス」テークル「ストロップ」及ビ「ストッパル」ヲ
用意ナシ且ツ便宜ニ由リ或ハ風潮ニ應シテ端船ノ
ボリア前或ハ後ニ向ケテ「エンコル」ヲ受取ル為メニ
用意ナシ同時ニ「カット」及ビ「フィシ」フォルヲ通シテ其「ブ
ロック」ヲ「エンコル」ニ釣シ而シテ之レヲ緊張シタラハ「カッ
ト」ストッパル及ビ「ジャンク」ペインタルヲ放シ「フィシ」
テークルヲ繰弛メテ「カット」ヘッドノ下ニ「エンコル」ヲ直
垂ニナシ「カット」ヘッドノ下ニ「エンコル」直立ニカ
端船ノ
底下ニ釣ル為メ「カット」ヲ以テ之レヲ繰下ゲ而シテ端船

ニアル人員ハ手近キフリュークニストップパルノアイヲ嵌ムヘシ

此ストップパルハニツチップ、ストップパルト称シ丈夫ナル索ヲ折曲ケテ其バイトニアイヲ結着シ或ハ括着シ其折曲ケタルニ條ノ索端ヲ分ケテ左右ノトランクヨリ上ニ通スヘシ而ノ上通スルニハリービングラインヲ左右ノトランクヨリ下通シテストップパルニ結ビ之レヲ引揚クヘシ

ハリービングラインハ測鉛子或ハ他ノ重物ヲ結ビタル細索ニテ之レヲトランク中ニ垂下シ端船外ヨリポート、フークヲ以テ之レヲ探釣シ以テストップパルノ迎

ビ索トナスモノナリ又ハリービングラインノ端ニ木片ヲ結附ケテトランク中ニ押通シ之レヲ水面ニ浮出セシメ拾ヒ取リテ迎ヒ索トナスコモアリ

己ニハリービングラインヲ上通シ了ラハ之レヲ以テストップパルノ兩端ヲトランクヨリ引上ケテ之レヲウインドラスニ卷キ附ケ而モエンコルヲカット、ヘッドヨリ繰下ケテ端船ノ底下ニ近ク卷揚ク但シシヤンクハ端船ニ觸接セサル様ニ注意スヘシ儲セコンド、ストップパルヲエンコルリングニ通シ折曲ケテニ條トナシ一端ハステルンニ於ケルローレルノ上ヲ過キテ之レヲ前方ニ遣リラフノダブルブロックニ固定ス其

ラブノジングルブロックハボルトノフォールモストボルトニ之レヲ釣ス而ノ其他ノ一端ハダビットヘッドノコーレルヲ通シ船底ノリングボルトヲ通シ自体ニ二回シ且ツスウォールトノ周リニ二三回シテ之レヲ固定シ或ハ船底ノボルトニ鎖住シタルスリップストップバルニ固定スヘシ

エンコルヲ投下スルニハラフ及ヒミツダップストップバルヲ繰弛メテエンコルヲ端船ヨリ離シ而ノ後一齊ニストップバルヲ解放スヘシ

第二法 エンコルヲコックビルニナシテ之レヲ降下スル為ノ用意ナシ且ツ之レヲ受取ル為メ端船ヲ程善

キ位置ニ据ヘミツダップストップバルヲバイトヲ以テクラオンノ周リニ結着シ其两端ヲトランクヨリ引上ケテ之レヲ固定スル第一法ノ如クスヘシ

アフタルストップバルセルコンドストップハシヤンクノ周リニ折曲ケテ掛ケストップクノ處ニ密接シ而ノ索ノ兩部ヲ其アッパルアームニ括着シテ直垂ノ位置ニアラシメ其兩端ハコーレルノ上ニ通シ固定スル第一法ノ如クスヘシ

此法ニテエンコルヲ投下スルハ前ニ同シ

第三法 丈夫ナルストッププロイン子ルフリックニ掛ケファイシダビットヲ弛メテファイシブロックヲストッププロニ釣

シエ¹ンコル²ヲ繰³下クル為⁴ノホ⁵ーセル⁶ノ⁷エ⁸ン⁹ド¹⁰或¹¹ハ
 ロ¹²ン¹³グ¹⁴、カ¹⁵ット¹⁶、ヘ¹⁷ッド¹⁸、ス¹⁹ト²⁰ッ²¹パ²²ル²³ヲ²⁴リ²⁵ン²⁶グ²⁷ニ²⁸通²⁹シ³⁰端³¹船³²ニ³³艘³⁴
 ヲ³⁵並³⁶列³⁷シ³⁸船³⁹尾⁴⁰ヲ⁴¹前⁴²ニ⁴³シ⁴⁴テ⁴⁵程⁴⁶善⁴⁷キ⁴⁸位⁴⁹置⁵⁰ニ⁵¹据⁵²ヘ⁵³且⁵⁴ツ⁵⁵端⁵⁶
 船⁵⁷ノ⁵⁸間⁵⁹タ⁶⁰ニ⁶¹餘⁶²地⁶³ヲ⁶⁴殘⁶⁵シ⁶⁶エ⁶⁷ン⁶⁸コ⁶⁹ル⁷⁰ノ⁷¹ア⁷²ッ⁷³パ⁷⁴ル⁷⁵、⁷⁶フ⁷⁷リ⁷⁸ユ⁷⁹ー⁸⁰ク⁸¹
 ヲ⁸²釣⁸³ル⁸⁴キ⁸⁵端⁸⁶船⁸⁷ニ⁸⁸觸⁸⁹レ⁹⁰サル⁹¹為⁹²ノ⁹³ニ⁹⁴ス⁹⁵ヘ⁹⁶シ⁹⁷而⁹⁸ノ⁹⁹一¹⁰⁰條¹⁰¹ノ¹⁰²
 ス¹⁰³パ¹⁰⁴ー¹⁰⁵ヲ¹⁰⁶兩¹⁰⁷端¹⁰⁸船¹⁰⁹ノ¹¹⁰ス¹¹¹テ¹¹²ル¹¹³ン¹¹⁴ニ¹¹⁵横¹¹⁶ニ¹¹⁷互¹¹⁸タ¹¹⁹シ¹²⁰テ¹²¹之¹²²レ¹²³ヲ¹²⁴
 綁¹²⁵着¹²⁶シ¹²⁷以¹²⁸テ¹²⁹ス¹³⁰ト¹³¹ッ¹³²ク¹³³ス¹³⁴ト¹³⁵ッ¹³⁶パ¹³⁷ル¹³⁸ヲ¹³⁹上¹⁴⁰ニ¹⁴¹掛¹⁴²ケ¹⁴³且¹⁴⁴ツ¹⁴⁵端¹⁴⁶船¹⁴⁷間¹⁴⁸
 ノ¹⁴⁹距¹⁵⁰離¹⁵¹ヲ¹⁵²定¹⁵³ム¹⁵⁴ル¹⁵⁵為¹⁵⁶メ¹⁵⁷ニ¹⁵⁸ス¹⁵⁹又¹⁶⁰他¹⁶¹ノ¹⁶²一¹⁶³條¹⁶⁴ノ¹⁶⁵ス¹⁶⁶パ¹⁶⁷ー¹⁶⁸ヲ¹⁶⁹取¹⁷⁰
 リ¹⁷¹兩¹⁷²端¹⁷³船¹⁷⁴ノ¹⁷⁵ガ¹⁷⁶ン¹⁷⁷子¹⁷⁸ル¹⁷⁹ニ¹⁸⁰横¹⁸¹ニ¹⁸²互¹⁸³タ¹⁸⁴シ¹⁸⁵テ¹⁸⁶之¹⁸⁷レ¹⁸⁸ヲ¹⁸⁹綁¹⁹⁰着¹⁹¹ス¹⁹²
 ヘ¹⁹³シ¹⁹⁴但¹⁹⁵シ¹⁹⁶其¹⁹⁷位¹⁹⁸置¹⁹⁹ハ²⁰⁰エ²⁰¹ン²⁰²コ²⁰³ル²⁰⁴ヲ²⁰⁵綁²⁰⁶着²⁰⁷ス²⁰⁸ル²⁰⁹キ²¹⁰其²¹¹ア²¹²ッ²¹³パ²¹⁴ル²¹⁵、
 フ²¹⁶リ²¹⁷ユ²¹⁸ー²¹⁹ク²²⁰ノ²²¹達²²²ス²²³ヘ²²⁴キ²²⁵處²²⁶ノ²²⁷直²²⁸前²²⁹ト²³⁰ス²³¹此²³²ス²³³パ²³⁴ー²³⁵モ²³⁶前²³⁷方²³⁸

ニ¹於²テ³端⁴船⁵間⁶ノ⁷距⁸離⁹ヲ¹⁰定¹¹ム¹²ル¹³為¹⁴メ¹⁵ニ¹⁶ス¹⁷前¹⁸後¹⁹共²⁰ス²¹パ²²
 ー²³ノ²⁴下²⁵ニ²⁶ハ²⁷當²⁸物²⁹ヲ³⁰置³¹ク³²ヘ³³シ³⁴然³⁵ラ³⁶サ³⁷レ³⁸ハ³⁹ガ⁴⁰ン⁴¹子⁴²ル⁴³ヲ⁴⁴
 損⁴⁵ス⁴⁶ル⁴⁷恐⁴⁸レ⁴⁹アリ⁵⁰
 己⁵¹ニ⁵²用⁵³意⁵⁴整⁵⁵フ⁵⁶タル⁵⁷キ⁵⁸ハ⁵⁹エ⁶⁰ン⁶¹コ⁶²ル⁶³ヲ⁶⁴繰⁶⁵下⁶⁶ケ⁶⁷フ⁶⁸オ⁶⁹ー⁷⁰ル⁷¹モ⁷²
 ス⁷³ト⁷⁴、⁷⁵ス⁷⁶パ⁷⁷ン⁷⁸ヲ⁷⁹以⁸⁰テ⁸¹ア⁸²ッ⁸³パ⁸⁴ル⁸⁵、⁸⁶フ⁸⁷リ⁸⁸ユ⁸⁹ー⁹⁰ク⁹¹ヲ⁹²ス⁹³ト⁹⁴ッ⁹⁵パ⁹⁶ル⁹⁷モ⁹⁸ス⁹⁹ト¹⁰⁰、
 ス¹⁰¹パ¹⁰²ー¹⁰³ニ¹⁰⁴釣¹⁰⁵リ¹⁰⁶而¹⁰⁷ノ¹⁰⁸二¹⁰⁹條¹¹⁰ノ¹¹¹ス¹¹²リ¹¹³ッ¹¹⁴ク¹¹⁵、¹¹⁶ス¹¹⁷ト¹¹⁸ッ¹¹⁹パ¹²⁰ル¹²¹ヲ¹²²以¹²³テ¹²⁴ス¹²⁵
 ト¹²⁶ッ¹²⁷ク¹²⁸ヲ¹²⁹釣¹³⁰ル¹³¹ヘ¹³²シ¹³³但¹³⁴シ¹³⁵ス¹³⁶リ¹³⁷ッ¹³⁸ク¹³⁹、¹⁴⁰ス¹⁴¹ト¹⁴²ッ¹⁴³パ¹⁴⁴ル¹⁴⁵ハ¹⁴⁶各¹⁴⁷端¹⁴⁸船¹⁴⁹ノ¹⁵⁰ス¹⁵¹
 テ¹⁵²ル¹⁵³ン¹⁵⁴ヨ¹⁵⁵リ¹⁵⁶一¹⁵⁷條¹⁵⁸ツ¹⁵⁹、¹⁶⁰ア¹⁶¹フ¹⁶²タ¹⁶³ル¹⁶⁴、¹⁶⁵ス¹⁶⁶パ¹⁶⁷ー¹⁶⁸ノ¹⁶⁹上¹⁷⁰ニ¹⁷¹掛¹⁷²ケ¹⁷³テ¹⁷⁴
 ア¹⁷⁵フ¹⁷⁶タ¹⁷⁷ル¹⁷⁸、¹⁷⁹ス¹⁸⁰リ¹⁸¹ン¹⁸²グ¹⁸³、¹⁸⁴リ¹⁸⁵ン¹⁸⁶グ¹⁸⁷、¹⁸⁸ボ¹⁸⁹ー¹⁹⁰ル¹⁹¹ト¹⁹²ニ¹⁹³之¹⁹⁴レ¹⁹⁵ヲ¹⁹⁶固¹⁹⁷定¹⁹⁸ス¹⁹⁹
 ヘ²⁰⁰シ²⁰¹

第四法¹ グ²ラ³オ⁴ン⁵ノ⁶處⁷ニ⁸テ⁹シ¹⁰ヤ¹¹ン¹²ク¹³ノ¹⁴周¹⁵リ¹⁶ニ¹⁷丈¹⁸夫¹⁹十²⁰

ル「ストロップ」ヲ掛ケ之レニ「フィシ」ヲ釣シ「エンコル」リ
 シ「グニ」カッタ「釣シ」而「ノ」二艘ノ端船ヲ程善キ位置ニ
 据ヘ別ニ「バイト」ニ「シムブル」ヲ括入シタル「シヨル」
 ト「ストロップ」ヲ取り之レヲ「クラオン」ノ周リニ掛ケテ
 「シムブル」アル「バイト」ヲ他ノ「バイト」ニ通シテ以テ「ス」
 ト「ツパル」ヲ通ス為メニス「儲」カッタ及ヒ「フィシ」ヲ引張リカッ
 ト「ストツバル」及ヒ「シヤンクペインタル」ヲ外ツシテ「エ」
 シ「コル」ヲ懸クヘキ端船ノ為メ充分ナル程之レヲ「緑」
 下ケ而「ノ」端船ヲ善ク其位置ニ据ヘ「ステルン」ヨリエ
 シ「コル」ヲ懸クヘキ一方ノ端船ニ「ハダビット」ヲ仕掛ケ
 置キ「ステルン」ヲ「エンコル」ノ「ストック」ニ密ニ引附クヘ

海軍兵學校

シ時宜ニ由リ「ボースプリット」ノ「エンド」ヨリ「ボート」
 「ロ」プヲ引ヒテ以テ其位置ニ固定セシム「フォール」
 「ボート」ラインヲ以テ此用ニ供スル「ア」リ
 「アフタル」
 「ストツバル」ハ「ステルン」
 「ローレル」ヨリエ
 「エンコル」
 「リング」ヲ通シ而「ノ」ステルン「ダビット」ノ「ローレル」ニ
 カケテ船内ニ固定スル「第一」及ヒ「第二」法ノ如クス
 ヘシ己ニ固定セル「ハ」カッタ「フォール」ヲ外ツシ他ノ端
 船ヲ「ボート」前ニ引附ケ「ボート」
 「ストツバル」ノ一端ヲ船底
 ノ「リング」
 「ボート」ニ固定シ他ノ一端ヲ「ボート」
 「ボート」ヨリ出タシ「エンコル」ノ「クラオン」ニ掛ケタル「シヨルト」
 「ストロップ」ノ「シムブル」ヲ通シ「スターボート」
 「ボート」ヨ

リ入レテ「ラフ」ノ「ダブル」ブロックニ固定シ而シ其「シン
 グル」ブロックハ「ステル」ノ「リング」ボールトニ釣スヘ
 シ己ニ「ボ」ストップ「パ」ルヲ引締メテ之レヲ固定シタル
 片ハ「フィ」ヲ外ツスヘシ
 「エ」ン「コ」ルヲ投下スルニハ「ラフ」ヲ繰弛メテ「エ」ン「コ」ル
 ヲ端船ヨリ離シ凡ヘテ用意整フタル片信号ニ由テ
 一齊ニ「ス」トップ「パ」ルヲ外ツスヘシ

第五法「フリ」クヲ底下ニ水平ニ置キ「ス」トップ「ク」ヲ「ステ
 ル」ニ直立セシメテ「エ」ン「コ」ルヲ釣ラント欲スル片
 ハ一端ニ「ラ」ージ「シ」ムブルヲ括入シタル二個ノ「ス」ト
 ロップヲ取り之レヲ各「フリ」クニ結着シ其「シ」ムブル

ニ一條ノ「シ」ルト「ブ」ー「イ」ロー「プ」ヲ通シ「ス」ト「ロ」ップヲ中
 央ニ保持セシカ為メ「シ」ムブルヲ「シ」ヤンクニ結留メ
 備「シ」ヤンクノ周リニ「ス」トップ「ク」ノ際ニ於テ「ラ」ージ「ス」リ
 ングヲ掛ケ直垂ノ位置ニアラシムル為メ之レヲ「ス」
 トップ「ク」ノ「ア」ッ「パ」ル「ア」ームニ括著ス此「ス」リ「ン」グヲ「ス」トップ「ク」
 「ス」リ「ン」グト云フ「カ」ットヲ釣スル為メナリ別ニ「ス」ト「ロ」ッ
 プ或ハ丈夫ナル「ロ」ー「プ」ヲ「シ」ヤンクノ周リニ掛ケ「ス」
 トップ「ク」ノ「ア」ッ「パ」ル「ア」ームニ縦ニ結留メ以テ「ステル」ニ
 「エ」ン「ゴ」ルヲ固定スルキ「ス」トップ「ク」ヲ直立セシムル為メ
 ニ用意ス

己ニ用意整フタル片「フィ」ヲ「イン」子ル「フリ」クニ後

ヨリ前ニ釣シ「カ」ト「フ」ストックスリングニ釣シ「カ」ト「ヘ」
 ド、ストップパル「及」ヒ「シ」ヤンク、ペインタル「ヲ」外ツシ成ル
 丈ケ「フ」リューク「ヲ」水平ニナシテ「エ」ン「コ」ル「ヲ」繰下クヘ
 シ
 己ニ「エ」ン「コ」ル水中ニ沈ミテ其上ニ端船ヲ引寄ルニ
 充分ナルニ至ラハ繰下クル「ヲ」留メ「ラ」ン「チ」ヲ「ス」テ
 ル「シ」テ前ニナシテ引寄せ其「ス」テル「シ」テ「ス」トックニ當
 テ其本船ニ近キ舷方ヲ「フ」イ「シ」ニ近接スヘシ而「メ」ア「フ」
 タル、ストップパル「ヲ」以テ「エ」ン「コ」ル「ノ」ストック「ヲ」端船「ノ」ス
 テル「シ」ニ固定シ而「メ」リ「ン」グ、ホールトニ通シ「ロ」ール
 ルニ掛クル「ヲ」第二法ニ同シ己ニ固定セルキハ「バ」ブ「ー」

イ「ロ」ール「ヲ」取り其先キヲ端船ノ左右中程ノ「ロ」ウ「ロ」
 ク「ヨ」リ通入シテ之レ「ヲ」引張り其「バ」イト「ヲ」フォールモ
 スト、リング、ボイルトニ通シテ之レ「ヲ」固定ス己ニ固
 定シテ「エ」ン「コ」ル端船ノ下ニ善ク懸リタルキハ「カ」ット
 及ヒ「フ」イ「シ」テ外ツスヘシ
 「エ」ン「コ」ル「ヲ」投下スルニハ凡ヘテ用意整フタル片諸
 スト「ツ」パル「ヲ」一齊ニ解脱スヘシ
 又法「シ」ムブル「ヲ」括入セル「ス」ト「ロ」ップ「ノ」代リニ「ホ」ー「セ」
 ル數尋ヲ取り其「バ」イト「ヲ」兩「フ」ツ「ク」ニ結着シ兩端
 「ヲ」左右ノ「ロ」ウ「ロ」ク「ヨ」リ取込ム「ヲ」アリ又「ブ」リ「ユ」ー「ク」
 直垂ニナシ一方ノ「フ」リ「ユ」ー「ク」ニ「ホ」ー「セ」ル「ヲ」結着スル

一モアリ

第六法「ストロップ」四個ヲ用意シ二個ハ「エンコル」ヲ下クルニ供シ二個ハ端船ノ下タニ「エンコル」ヲ懸クルニ供ス

「エンコル」ヲ懸クル為メ用ユル「ストロップ」ハ何レモ「バイト」ニ通スヘシ但シ「ハク」ヲオンノ周リニ掛ケ他ノ「ハストック」ニ接近シテ「ジャンク」ノ周リニ掛ケ且ツ「ストック」ノ「アップル」ヲ「ム」ニ綁著スヘシ而シテ「各」ストロップノ端ニ「ホーリング」ヲ一條ツ、附ケ之レヲ端船ノ方ニ垂下マヘシ
「エンコル」ヲ下クルニ用ユル二個「ストロップ」ノ一ハ之

レヲ「リング」ニカケ「ストック」ノ「アウタル」ヲ「ム」ニ結著シテ「エンコル」ヲ下クル片正方向クル為メニス他ノ「ハク」ヲオンニ接近シテ「ジャンク」ノ周リニ掛ケヘシ「緒」カッタ「リング」ニ「ストロップ」ニ釣シ「フォール」ヤードヲ前方ニ旋廻シテ之レヲ固定シ「フォール」ヤード、テークルヲ「ジャンク」ノ「ストロップ」ニ釣シ「フィシ」ライナ子ル、フリックニ釣スヘシ「緒」フィシ及ビ「ヤード」テークルヲ引張りテ之レニ「エンコル」ノ重サヲ擔ハセ「カット」張ル迄「カット」ヘッド、ストップバルヲ繰弛メ「カット」ヘッド、ストップバル及ビ「ジャンク」ペインタルヲ遣放シ而シテ「エンコル」ヲ水際マテ繰下ケ「フィシ」ヲ外ツシ「カット」及ビ「フォール」ヤード

海軍學科
卷五
遊軍學科

テークルヲ以テエンコルヲ釣り置キ而ノ後エンコ
ルノジャンクノ上ニ端船ヲ引寄ル為メ充分ナル程
エンコルヲ水中へ沈マセ二個ノストロップヲ端船ノ
左右ニ於テ成ル丈ケ中程寄リノロウロクニ通シテ
引入レ一方ノバイトへ他ノバイトヲ通シテ獸脂ヲ
塗リタルトグルヲ挿シテ栓定ス但シトグルノ滑脱
ヲ防ク為メ其アイトヲスパニヤーンヲ以テ括著スヘ
シトグルニハヤードヲ附シテ之レニジツカルヲ
釣スヘシ
エンコルヲ投下スルニハジツカルヲ引ヒテトグルヲ
滑脱シ以テエンコルヲ端船ヨリ離レ落サシム但シ

豫メブーイ、ロープ及ヒケーブルニ注目スヘシ
第七法 二條ノロング、ベンデントヲ用ユ其一端ニハ
各ロングアイトヲ備へ他ノ端ハ何レモフリークノ周
リニ結著ス此ロングアイトハ互ヒニ相通シテスパン
ヲ造リトグルニテ栓定ス此トグルハ堅木ニテ造リ
善ク獸脂ヲ塗リテ之レヲ引拔キ易スカラシメ且ツ
ラニヤードヲ附シテジツガルヲ釣スル為メニシア
ニジーションヲ掛ケテトグルヲ固定ス者一條ノ圓材
或ハ木板ヲ張木トナシ其兩端ニ二條ノクリートヲ
固釘シテ二股ヲ造リ之レニスパンヲ掛ケエンコル
ヲ引揚ルキ滑リ下ラサル為メ之レヲ括著スヘシ但

海軍學科
卷五
遊軍學科
二二

シ括著スルニハエンコルヲ水中ニ下タセル此張
 木ノ下タトエンコルノ上ヘトノ間夕ニ端船ヲ通入
 スヘキ程ノ遊隙ヲ見積ルヘシ張木ノ長サハ端船ノ
 幅ヨリ少クモ二尺斗長クスヘシ己ニ括著シ了ラハ
 フイシヲスパンニ釣シ而ノカトヲエンコルノリング
 ニ釣シ且ツストロップ或ハストップバルヲ取り之レヲス
 トツクニ近接シテジャンクノ周リニ掛ケストップノア
 パルアームニ之レヲ綁著シ以テストップクヲシテ直立
 ノ位置ニアラシムヘシ
 己ニ用意整フタル片フイシヲ張リカトヲ繰弛メテエ
 ンコルノ重サヲ之レニ擔ハセカト、ヘッドストップバル及

ビジャンクペインクルヲ遣放シテエンコルヲ繰下
 クヘシ己ニ充分低キニ至ラハステルンヲ前ニ向テ
 テランチヲ引寄セ張木ノ下及ヒスパンノ二部ノ間
 タニ之レヲ通入システルンヲストップクニ當テアフタ
 ルストップバルノ兩端ヲ引入レ且ツ端船ノステルンニ
 エンコル、ストップクヲ固定スル前法ニ同シ己ニ端船
 ヲスパンニ通入シタラハ張木下リテ端船ノガン左
 ールニ接着スル迄フイシヲ繰下ケ且ツ成ル丈ケ張木
 ヲ前方ニ遣リテ之レヲ其位置ニ綁著スヘシ己ニ綁
 著シ了ラハカト及ヒフイシヲ外ツスヘシ
 エンコルヲ投下スルニハトグルノヲニヤードニジツ

ガ「ル」ヲ釣シ而ノ他ノ「ブ」ロク「ク」ヲ「ボ」ノ「リ」ン「グ」ボ「ール」トニ釣シ「ス」パン「ノ」ア「イ」ノ結索及ヒ「ス」パン「ノ」綁索ヲ切リ信号ニ由テ「ジ」ツ「カ」ル「ヲ」引キ「フ」リ「ム」ク「ノ」ス「パン」即チ「ス」リ「ン」グ「ヲ」放離シ同時ニ「ス」ト「ツ」ク「ス」ト「ツ」パ「ル」ヲ滑脱シ以テ端船ヨリ「エ」ン「コ」ル「ヲ」落下スヘシ
 第七圖 第二百三十八圖

端船輕小ニシテ「エ」ン「コ」ル「ノ」重量ニ堪ヘス而シテ他ニ相當ノ端船ヲ得サル「キ」ハ其載カ「フ」増勢シテ以テ之レヲ應用スヘシ其法四個ノ大樽ヲ二個ツ「ス」リ「ン」グニテ釣リ左右ノ「ス」リ「ン」グ「ヲ」結合シテ樽ヲ流移セサラシメ能ク栓ヲ塞キ「ヤ」ード「テ」ーク「ル」或ハ「ボ」ール

ト「フ」オ「ール」ヲ以テ「ス」テル「シ」テ擧揚シ樽ヲ二個ツ左右「ク」オ「ール」ト「ル」ノ下ニ置キ右舷ヨリ左舷ニ綁索ヲ横ニ通シテ樽ヲ其位置ニ据ヘ而ノ端船ヲ下クシ以テ其載カ「フ」増加ス
 第二百三十八圖

前記ノ諸法中何レヲ用フルモ「エ」ン「コ」ル「ヲ」端船ニ釣ル「キ」ハ「ケ」ーブル「ヲ」モ運搬スヘキ用意ヲナシ而ノ安全且ツ差支ナキ丈ケ「エ」ン「コ」ル「ヲ」釣リタルト同一ノ端船ニ之レヲ積ミ餘レル索分ハ後ニ連行セル他ノ端船ニテ運搬スヘシ其法「ヘ」ム「フ」シ「ート」ケ「ー」ブル「ヲ」解脫シ而レハ先ツ「エ」ン「コ」ル「ヨ」リ「チ」ェ「ーン」ケ「ー」ブル「ヲ」解脫シ而「ノ」ヘ「ム」フ「シ」ート「ケ」ーブル「ノ」エ「ン」ド「ヲ」ホ「ー」ズ「ホ「ール」

海軍船學 卷五 下 三三 二母 五 五 二 交

或ハ「ポルト」ヨリ出タスヘシ但シ「エシ」コルヲ釣ルヘキ端船本船ノ前部ノ方ニアル「ハ」一條ノ「ロープ」エシ「ド」ヲ「ホーズ」ホルル或ハ「ケーブル」ヲ繰出タスヘキ「ポルト」ヨリ通シ入レテ之レヲ「ケーブル」ノ「エンド」ニ結ヒ又後部ノ方ニアル「ハ」ノ「エシ」ドヲ後部ヨリ舷外ニ沿フテ前部ノ方ヘ遣リ「ホーズ」ホルル或ハ「ポルト」ヲ通入シテ之レヲ「ケーブル」エシ「ド」ニ結ビ以テ「ケーブル」ヲ引出タスヘシ己ニ引出タシタル「ハ」之レヲ「エシ」コルニ固結シ而メ其「ケーブル」ヲ端船ノ「スウォール」ト上ノ内周ニ差支ナキ程圓ク縮子餘レル索分ハ後ニ連行セラル他ノ端船ヲ以テ運搬スヘ

シ備「ケーブル」ノ餘レル索分ヲ運搬スル為ニハ大小ヲ論セス便宜ノ端船ヲ用ヒ其「ケーブル」ヲ受容シ得ヘキモノニハ「スウォール」ト上ニ輪縮シ又小ニシテ之レヲ受容シ得サルモノニハ水中ニ放置シ端船ノ「ヘッド」及ヒ「ステル」ニ上ニ「ケーブル」ヲ結留メテ其浮出ヲ助クヘシ斯クノ如ク各端船ヲシテ程善キ距離ヲ以テ連行セシメ且ツ「ケーブル」ノ小部ヲ縮子積ミタル端船ニテハ「ハ」輪「コト」ニ「スウォール」ト或ハ「リング」ボートルトニ之レヲ結留メ以テ「ケーブル」ヲ繰出タス「ハ」猥リニ多量ヲ走出セサル為メニスヘシ「ケーブル」ハ「チェント」ヘム「プロ」論セス「エシ」コル海底

ニ達着スル丈ケノ全量ヲ見積リ之レヲ端船ノ外周ニ結留ムヘシ然ラサレハ投錨ノ片端船ヲ破損シ或ハ沈没スルノ恐レアリ

ボア、エンコルヲ釣リタルランチヲ引出タス為メニハ「カトル」ニ「ケツ」及ヒ其「ボアセル」^{「ウォー」}「ト」云ヲ載セテ派出シ預シメ「ボア、エンコル」ヲ投下スヘキ位置ノ深淺ヲ測定スヘシ而シテ「ケツ」ハ其投錨ノ位置ヨリ前頭ニ離レテ投置スヘシ然ラサレハ「ランチ」ヲ引出タス片其位置ニ達着セサル前ニ「ケツ」ハ「引」ケ来リテ用ヲナサ、ル「ア」リ己ニ「ケツ」ヲ投置シタル片ハ「カトル」ハ「ホアセル」ヲ以テ本船ニ歸着シ而シテ「ラン

チハ此「ウォー」^{「プ」}ヲ引キ傳フテ出行キナカラ「ケ」^{「イ」}「ブル」ヲ繰出スヘシ己ニ「ラン」チ其位置ニ達着シ「ケ」^{「イ」}「ブル」ヲ繰出タシ悉シタル片ハ底下ニ密接シタル「エン」コ「ル」ヲ端船ヨリ離ス為メ「ラン」チヲ繰弛メ外周ニア「ル」^{「イ」}「ブル」ノ結索ヲ切り障害物アル片ハ之レヲ取除カシカ為メ豫メ斧ヲ用意シテ各端船ヲ警戒シ「ブ」^{「イ」}「イ」ヲ流シ而シテ投方「ゴ」^{「ット」}「ト」ノ令ニテ「ス」^{「ト」}「ツ」^{「パ」}「ル」ヲ解脱シ「エン」コ「ル」ヲ投下スヘシ但シ投錨ノ前ニハ己ニ「ケツ」^{「ダ」}ヲ運搬セル端船ニ投錨スヘキ地位ノ深淺ヲ測定セルヤ且ツ「ブ」^{「イ」}「ロー」^{「プ」}差支ナキヤニ注意スヘシ若シ投錨ノ地甚タ淺キ片ハ「エン」コ「ル」海底ニ達着スル

迄徐々ニストップパルヲ繰弛ムヘシ
 ケーブルヲ端船ニ載セ行キ投錨ノ後本船ニ歸来リ
 ナカラ之レヲ繰出タスキハ必ス先ツエンコル海底
 ニ達著スル丈ケノケーブルヲ繰下クヘシ故ニ此時
 ニ於テケーブルヲ端船ノ外周ニ結留スルヲ最モ緊
 要ナリトス且ツケーブルヲ殘ラス運ビ出スキハケ
 ーブルノ端ニホーセルヲ結ビ或ハ之レヲ連行ノ一
 端船ニ固定シ以テ本船ニ引戻ノ用ニ便スヘシ
 ケーブルヲ運搬スルキ或ハ本船ヨリ出行キナカラ
 之レヲ繰出タシ或ハ投錨ノ後歸来リナカラ之レヲ
 繰出タスヲアリ何レモ臨時ノ便宜ニ任スヘシ但シ

距離遠大ナルキハ歸来リナカラ繰出タスヲ良ト
 ス又風下ニ運搬スルキ或ハ逆風逆潮ノキハ歸来ツ
 ナカラ繰出タスヲ良トス
 ヘムフケーブルトチェーン、ケーブルトハ其重サ六七
 ト一六、四ト比例ノ如ク殆ントニ倍半程ノ差アリ故
 ニ七十乃至八十尋以上距離ノ大ナルキ或ハ天候不
 良ニシテ重載ハ端船ノ為メ危険ノ恐レアルキハヘ
 ムフ、ケーブルヲ最モ良トス但シチェーン、ケーブルハ
 取扱簡易ニシテ且ツ岩石ニ撞觸スルモ懸念ナキノ
 利益アリトス
 ケーブルヲ繰出タスキハ其使用ニ就カサルモノハ

スウォールトノ下ニ坐シテ以テ事業ニ差支ナカラシムヘシ
 ランチニテボースエンコルヲ巻揚ルニハ錨ノ位置ヲ標シタルブレイロープヲ採リテ之レヲ緊張シ一條ノホーセル或ハロップエンドノバイトヲ下タシ以テアップル、フリュークヲ探求シ而ノ己ニ之レヲ獲クヲハ此索ノ兩部ノ周リニシヤックルヲ嵌メテ之レヲ滑リ下タシ以テフリュークヨリ索ノ外ツレサル様ニナシ且ツ其索ノ兩端ヲ端船ノ左右ニ廻ハシテ之レニリービング、ラインヲ結ビトラレクヨリ之レヲ引上ケウインドラスニ掛ケテ之レヲ巻揚クヘシ但シ此

時ブレイロープニ掛リテエンコルヲ土中ヨリ引起スモアルヘシ己ニ巻揚ケテエンコルノクラオン端船ノ底ニ接スルニ至ラハアフタル、ストップパル或ハ他索ノバイトヲボイノ前ヘヨリ落下シ其兩端ヲ端船ノ左右ニ採リ此索ヲ以テエンコルノ重サヲ擔フ迄後方ニ引附ケ且ツアフタル、ストップパルノ二部ヲ取り一ヲステルンノローレニ掛ケ他ノ一ヲダビットノローレニ掛ケ其索ノ一端ヲ端船底内ノリング、ポートルトニ固定シ而ノ他ノ一端ヲラフノダブルブロックニ釣シラフヲ引ヒテストックヲステルンニ引附ケコ、ニ之レヲ固定スヘシ別ニ一條ノロープノバ

海軍知識抄 卷五 下 二七

イトヲボノ前ヨリ落下シテチェーンヲ獲ル前ノ
 如クナシ其索ノ二端ヲ絢リテ他ノ端船ニ遣リ之レ
 ヲ卷揚クヘシ
 トランクヲ備ヘサル端船ニテボアエンコルヲ卷
 揚ルキハ一端船ノステルンダビットヲ以テ卷揚ル
 ヲ得ヘシ然レモ水波平穩ナラサルキハ二艘端船ノ
 ステルンダビットヲ以テ兩端船ノ間ニ卷揚ルモア
 リ
 本船ヲ引出タスニ方リボアエンコルニ至重ノ力
 ヲ要スヘキキハボアエンコルヲ運搬スルキスト
 リーム、エンコルヲ以テ副錨ベッキンスルアリ
 ノ引ケルヲ

防カシカシ為メ小錨ヲ添ヘ投スルヲバツケングト云フ
 スモール、ケツダヲシテ一層堅固ナラシムル為メバル
 ラスト一塊又ハ他ノ重物ヲ
 添縛スルモ之レニ同シ
 其法ケツダヲ運出シテ之レヲ投下シ且ツ其ホーセル
 ヲ用意シ而メストリーム、エンコルヲランチニ下タ
 シ之レニ所要丈ケノストリーム、チェーンニ數尋ヲ附シ
 諸ケツダニ固定シタルホーセルヲ以テランチヲ引出
 タシ而メボア、エンコルヲ投下スヘキ豫定ノ位置
 ヲヨリ前頭ノ方ニ離レテストリーム、エンコルヲ投下
 シ其マトリーム、チェーンノエンドニブローイヲ標附シ
 一艘ノカトルヲ之レニ繫止シ以テ端船ニ載セタル
 ボア、エンコルヲ引出タシタルキ之レニストリーム

チェーシヲ鎖住スルニ備フヘシ己ニボースエシコル
 ヲ運搬シテ其位置ニ達着シタルキハ其シヤンクノ
 周リニストリーム、チェーシヲ結ヒテ之レヲクラオシ
 ニ滑リ下クヘシ
 斯クノ如キ時ボースエシコルヲ釣リタルランチヲ
 引出タシ且ツシート、ケーブルヲ運搬センカ為メ尚
 便利ナラシメンニハストリーム、エシコルヨリ深サ
 ニ倍丈ケ長サノ處ニ於テストリーム、ケーブルニ一
 個ノブロックヲ綁着シ之レニホーセルヲ通シニツ折
 リニシテダブルトナシ其兩エシコルヲ端船ニ縮載セ
 テ本船ニ歸リ其ホーセルノ一端ヲランチニ固結シ

他ノ一端ヲ本船内ニ取込ミ之レヲ引ヒテランチヲ
 引出スヘシ此時ランチニ於ケルモケツヂニ固結シタ
 ルホーセルヲ引ヒテ之レヲ助クヘシ己ニボースエ
 シコルヲ引出タシタルキハブロックヲ通シタルホー
 セルヲ前ノ如ク再ヒ本船ニ送致シテ其一端ヲゲン
 ガルニ固結シ他ノ一端ヲ本船内ニ取込ミテ之レヲ
 引キケーブルヲシテボースエシコルノランチニ引
 出タシテ之レヲ固結スヘシ但シシート、ケーブルヲ
 引出タス間タニストリーム、ケーブルノエシコルヲ
 ースエシコルニ固定シ而シテ投錨ノ用意整フタル片
 ホーセルヲ引抜キエシコルヲ投下スヘシ

〔三〕上手廻下手廻ノ法等

上手廻及ビ下手廻ノ法

凡船其ヤードヲ銳ク上廻シテ一杯ニ開キ成ル丈ケ
 風ニ湖リ行クヲ名ツケテクロス、ホールドト云
 フ横帆船グド、シップ、ハ其性質ニ由リテ異同アリト
 雖氏風ニ湖ル通常六點トス但シ善ク開クモノハ
 五點半ヨリ五點ニ至ルアリ而シテ船右舷ノ方ニ
 風ヲ受クルキハクロス、ホールド、オン、ゼ、スターボ
 ールド、テッキノ開キト云ビ左舷ノ方ニ風ヲ受クル

片ハクロス、ホールド、オン、ゼ、ホルト、テッキノ開キ
 ト云フ即チ風上ニ引張ル所ノテッキノ左舷
 ニ應シテ斯クハ名ツクルモノナリ
 凡船帆走スルニ方リ風若シ達著セント欲スル的地
 ノ方ヨリ吹来ル片ハ其船一針路ヲ以テ直チニ之レ
 ニ達スルヲ能ハス此時ニ方テハ所謂クロス、ホ
 ルドノ法ヲ以テ達著セント欲スル的地ノ方向ニ成
 ル丈ケ近ク湖リ即チ成ル丈ケ近ク船首ヲ風ニ向ケ
 テ走リ若干ノ時間同針路ヲ保續シタル後此テッキヨ
 リ他ノテッキニ變シタトハ今迄スターボ
 ールド、テッキニ變スルカ
 シ如斯クノ如ク次第ニ左右テッキニテ間切リ行キ遂ニ

海軍學校
 三十
 海軍學校

目的ノ地位ニ達著スルモノナリ
 右ノ如ク船ヲ廻轉シテテッキヲ變更スルニ二法アリ
 一ヲ上手廻ト云ヒ一ヲ下手廻ト云フ
 上手廻トハ一方ノボ「」ヲ以テ風上ニ湖リ「ヘツド、ウイン
 ド」受クル「」風ヲトナリテ後チ他ノボ「」ヲ以テ風下ニ
 落チ前ト反對セル「」テッキヲ以テ再ヒ一杯ニ開ク「」ヲ
 云フ故ニ六點ノ開キニテ上手廻ヲナスキハ船ハ十
 二點ヲ以テ一ノ「」テッキヨリ他ノ「」テッキニ廻轉スルナリ
 下手廻トハクロス、ホールド「」ヨリ「」フォールゼ、ウインド「」
 船尾ニ風ヲニマテ風下ニ落トシ再ヒ他ノボ「」ヲ以
 テ湖リ一杯ニ開ク「」ヲ云フ故ニ六點開キニテ下手

廻ヲナスキハ二十點ヲ以テ一ノ「」テッキヨリ他ノ「」テッキ
 ニ廻轉スルナリ

上手廻ノ法

上手廻方ノ令ニテ上手廻ヲナス為ノ凡ヘテ用意ヲ
 ナシ而ノ各自其配置ノ部署ニ就カシム
 云々ト記スル等ノ如キハ只其令ノ意味ヲ説示シテ
 ル而已ニシテ直チ之レヲ以テ令トナスニアラ
 ス以テ下之レ
 上手廻用意方ノ令ニテ各自其部署ニアリテ能ク注
 意セシム
 徐カニ舵柄ヲ下手ニ取り方「」ム、ダオンノ令ニテ徐

々ニ「ヘルム」ヲ下タ手ニ取ラシムヘシ但シ斯クノ如クスルハ餘リ急ニ舵ヲ取切リテ航進ノカヲ止メサル為メナリ

ブーム直方ル、ホール、オバノ令ニテ船尾ヲ風下へ押遣リ船首ヲ風上ニ溯ラシムル為メ「スパシカル、ブーム」ヲ中央ニ引入レリ、「トッピング」ヲ引張り「ウーザル、トッピング」ヲ遣放スヘシ己ニ「ヘルム」下タ手ニナレルヤ直チニ

舵柄下手ノ令ニテ「ヘッド」及ビ「フォール、シート」ヲ遣放シテ繰越シ以テ成ル丈ケ早ク「ジブ」及ビ「フォール、セイル」ノ風ヲ洩ラシテ船ノ風ニ溯ルヲ助クヘシ己ニセ

イル「飄動」セル片

「テッキ」及ビ「シート」舉方「リス、テッキ、エ」トツプ、ゲルン、ポーライン「遣放方」ル「ゴ、トツプ、ゲ」ノ令ニテ「コース」ノ「リュ」ヲ引揚ケ「メイン」スル「廻方」ノ片「テッキ」及ビ「シート」フロクノ「ハムモツク」子ツチングニ障ラサル程ニ高メテ「クリ」ガ「子」トツ「巻留メ」トツプ、ゲルン、ポーラインヲ遣放スヘシ但シ「フォール、テッキ」ハ「メイン」スルヲ廻ハス迄ハ其儘ニ置クヘシ其故ハ若シ「フォール、テッキ」ヲ早ク遣放セハ「フォール、マース」トノ方へ脹レカ、リテ裏帆ヲ打チ之レカ為メ船ノ風ニ溯ルヲ妨クレハナリ「トツプ、ゲルン、ポーライン」ヲ遣放スハ「セイル」逆ニ

ナリタル片^レボーライ^ンニ張リヲ持タセタ^メ而已
 ナラスヤード^レヲ廻ハス片^レ放^シ解^シ置^ク為^メナリ而^テ
 リ、メイン、テッキ及ヒ^レウェーザ^ルメイン、シート^レヲ繰^込
 ミ以テ後ニ^レメイン、ヤード^レヲ廻ハス片^レノ為^メニスヘ
 シ
 メイン、ブレース緊張方^メポール、ウエル、タウト、ノ令ニテ
 遣放方ニ差支ナカラシムル為^メ風下^ノアフタル、ブ
 レース、メイン、トップ、ボーライ^ン、メイン、トップ、ゲルン、ブ
 レース、メイン、ブレース、ツライシンダ、ライ^ン及ヒ空
 ーザル、プレベントタル、メイン、ブレースニ掛ル所^ノ配
 負ヲ注意セシメ且ツ能ク緊張シテ速引スル為^メリ

一、プレベントタル、メイン、ブレース及ヒ^レウェーザル、ブレ
 ースニ掛ル所^ノ配負ヲ注意セシムヘシ己ニ船潮リ
 テ風^ボ、ヨリ一點或ハ一點半ニ至ル片^レ
 メイン、スル廻方^メ、ホース^レノ令ニテツ、アフタル、ブ
 レース及ヒ^レボーライ^ンヲ遣放シ、アフタル、ヤード^レヲ
 周廻^シ、メイン、テッキヲ引下ケ、メイン、ブレイス、メイン、
 テッキ及ヒ^レメイン、シート^レヲ卷留メテ、セイルヲ新^テテッキ
 ニ据ユヘシ、今^ハ、ポール、ボルト、テッキナレ^メ、メイン、スル
 ヲ周廻スルノ時機ハ最^モ其船ノ性質ニ關係スルモ
 ノニシテ周廻シタル片^レハ、メイン、スル尚飄動スルモ
 ノトス次ニ

「フオール」テッキ「ヘッド」ブレースノ令ニテ周廻スル為メ「ヘッド」ブレース「フオール」テッキ及ヒ「ボーライン」ニモ注意セシム已ニ「アフタル」セイリニ風吹込ミタルキ「ヘッド」ヤード廻方ホフ「オール」ノ令ニテリ、「ヘッド」ブレース及ヒ「ボーライン」ヲ遺放シ「リ」元「ヘッド」ブレース「ウエーザ」ノ「ヘッド」ヤードヲ周廻シテ「フオール」テッキヲ引下ケ「シュー」トヲ後引シテ後之レヲ卷留ムヘシ「ヘッド」シューハ此令ト共ニ取直スヘシ
中舵マイトセブルムノ令ニテ「ヘルム」ヲ中央ニ致ス但シ船ノ航カヲ失ヘルキニ之レヲ施スヘシ若シ船後退スルキハ「ヘルム」ヲ反對ニ取ルヘシ

已ニ「フオール」ヤードヲ上廻シタルキハ「メイ」ヤードヲモ上廻シ凡ヘテ「セイ」ルヲ風ニ適合セシメ「ウエーザ」ル「ブレース」及ヒ「ツ」ラスヲ緊張シ「ウエーザ」リフトヲ引締メ且ツ「ボーライン」ヲ引張り「ベッキ」ステ「シュー」ヲ締ムルニ注意スヘシ
舵柄下手ノ時風微ナルカ或ハ波高キキハ「ヘッド」セイリヲ引下ケ且ツ「フオール」及ヒ「フオール」トップスルニ裏帆ヲ打タセテ船ノ潮廻ヲ助クル為メ少シク「リ」ヘッド「ブレース」ヲ弛ムヘシ但シ船「ヘッド」ウインドヲ過クル後ハ再ヒ「ヘッド」セイリヲ引揚クヘシ
メイ「ヤード」廻方ハ船「ヘッド」ウインドトナラヌ前ニ

施スヲ好機會トス其故ハメイン、トップスルノリ、サ
 イドノ風下ハヘッド、ヤードニ風ヲ奪ハレテ無風トナリ
 ウェーザル、サイドノ風上ハ風ヲ受ケテ裏帆ヲ打ツカ故
 ニリ、ブレースヲ遣放シテヤードヲ自由ナラシメ
 ハ自ラセイル風上ノ方ハ後方ニ廻ハリ風下ノ方ハ
 前方ニ行ケハナリ然ルニ若シ風ノボ、ヲ替レル迄
 メイン、ヤードヲ引廻サ、レハ風上ノ方無風トナリ
 風下ノ方裏帆ヲ打チテヤードノ周廻ヲ妨クルニ至
 ルナリ
 メインスルヲ掛ケサルキハメイン、トップスルヲ廻ハ
 スヘシヤード重大ニシテ配員習熟セサルカ或ハ總

員配置ナラサルキ充分廻轉ヲナシ得ヘキ見込アル
 キノ如キ等ニテハ先ツメインスルヲ絞リ而ノ後上
 手廻ハシヲ施ス、モアリ

下手廻ノ法

天候不良ニシテウェーザル、ボ、ニ激浪アルカ或ハ風
 最モ微弱ニシテセイル弛垂シ航カ緩ニシテ上手廻
 ヲナスニ足ラサルキニ於テ之レヲ施行スルモノナ
 リ但シ風微弱ナルキニ於ケルモ一度ハ上手廻ヲ試
 ミ而ノ之レヲ為シ難キキ直チニ下手廻ニ移ル、モ
 アルヘシ

此法ハ船風下ニ流退シテ至大ノ弧分ヲ周廻スレハ
 航路ニ於テ著シキ損失ヲ生スルヲ必セリ是故ニ成
 ル丈ケ此損失ヲ減少スヘキ様ニ運用スルヲ最モ肝
 要ナリ

ブレーン、セイルニテ下手廻ハシヲ施ス法左ノ如シ
 下手廻方ノ令ニテ各自其配置ノ部署ニ就カシムヘ
 シ已ニ用意整フキ
 ヘルム上手メインスルスパンカル絞方アフタルボ
 ーライン遣放方アフタルブレース引廻方ノ令ニテ
 ヘルムヲ上手ニ取りメインスルスパンカルヲ絞リ
 アフタルボーラインヲ遣放シ船首風下ニ落ルニ從

ビウエーザル、ブレースヲ以テ次第ニアフタル、ヤード
 ヲ引廻シヤード直方ニナル迄セイルヲ飄動セシム
 ヘシ但シ風輕微ナルキハミヅン、トップスルハ飄動セ
 シメテ船ノ風下ニ落ルヲ妨ケスメインスルニハ
 風ヲ入レテ航進ノ力ヲ減セサル為メニス已ニ風ク
 ートルヨリ來ルキ
 アフタル、ヤード直廻ノ令ニテアフタル、ヤードヲ直
 廻シテ之レヲ卷留メリフト及ビツラスノ配負ハ之
 レヲ固保スルヲ注意スヘシ已ニ風殆ント船尾ヨ
 リ來ルキ

フオール、テッキ及ビシート舉方ヘッドボーライン遣放方

及ヒ「ヘッド、ヤード」直廻方ノ令ニテ各自之レヲ施行シ
 「ヘッド、ブレース」ハ前方ニ上廻スル為メ之レヲ掌握シ
 置クヘシ己ニ風船ノ正後ヨリ他ノ「クォートル」ニカ、
 ルキ

「ヘッド、シート」替方「アフタル、ヤード」上廻ノ令ニテ各自
 之レヲ施スヘシ又風ニ潮ル「ト」ヲ助クル為メ時ニ「ヘッ
 ド、セイ」ル「ト」下タス「ト」モアリ己ニ風「クォートル」ニ廻ハ
 リタルキ
 「メインスル」スパンカル「掛方」ノ令ニテ「メイン、テッキ」ヲ
 引下ケ「シート」ヲ後引シ「スパンカル」ヲ引出スヘシ己
 ニ風「エ、ビー」ムニ至ラハ「ヘッド、ヤード」上廻方「フォール、」

「キ」引下「ヘッド、シート」後引方ノ令ニテ「ヘッド、ヤード」ヲ
 上廻シ「フォール、テッキ」ヲ引下ケ「ヘッド、シート」ヲ後引スヘ
 シ
 己ニ他ノ「テッキ」ニ開キタルキハ「ヘルム」ヲ正中ニナシ
 ヤ「ド」ヲ鋭ク上廻シテ風ニ適合シ「リフト」ツラ「ス」及
 ブ「レース」ヲ緊張シテ「ボーライン」ヲ張ルヘシ
 「ヘルム」ヲ正中ニ取直スノ時機ハ船ノ性質ニ關係ス
 ルモノナレハ能ク之レヲ察シテ適良ニ處置スヘシ
 正中ニ直ス「ト」遅速ニ由リテ「テッキ」ヲ變シタル後尚
 風上ニ潮ル「ト」アリ

上手廻ノ節廻轉ヲ誤リタル片回復ノ法
 上手廻ヲ施スニ方リ廻轉ヲ誤ルノ理由ハ數般アリ
 ト雖片大抵船ノ釣合宜シキヲ得サルカ風ニ潮ル下
 急ニ過キテ航進ノカヲ失フカ激浪船頭ニ衝来ルカ
 メイン、ヤードノ周廻^{ブリスラオキ}早キニ過クルカ等其他ノ件々
 ニ他ナラス是故ニ指揮ヲ掌トル者ハ廻轉ヲ誤リタ
 ル片ハ各其場合ニ從ヒ機ニ臨ミ變ニ應シテ之レヲ
 處置セサルヘカラス然レ凡帆走運用ノ要ハ專ラ
 ヘルムノ巧用ニ關係スルカ故ニ之レヲ正中ニシ之
 レヲ左右スルノ法能ク其時機ニ適セスンハアルヘ
 カラス

廻轉ヲ誤リタル片之レヲ處置スルノ法ニ般アリ一
 ハ元ノデッキニ戻リテ再ヒ廻轉シ直シ一ハ「ピール」ヨ
 リ廻ハスモノナリ
 其第一法ニ於テハ若シ船殆ント「ヘッド、ウインド」ニナリ
 タル後滯止シテ再ヒ風下ノ方ニ戻ラントスル片ハ
 「ヘッド、シート」ヲ後引シ且ツ「フォール、シート」ヲ後引スヘ
 シ然レ片若シ「メイン」スルヲ周廻シタル後船其航進
 ノカヲ失ヒ廻轉ヲナサスシテ却テ元ノ「デッキ」ニ逆退
 セントナシ「ヘルム」ヲ取直スモ其効ナキ片ハ舊ノ「テッ
 キ」ニ復シ風ヲ含マセテ後再ヒ上手廻ヲ試ムヘシ即
 チ「ヘッド、シート」ヲ後引シ「メイン、グリュール」ガ「子ット」ヲ引

揚ケスパンカルヲ絞リテアフタルヤードヲ直廻シ
 船後退スレハヘルムヲ風下ニ取ルヘシ已ニセイ
 ニ風ヲ入ル、キハ元ノテッキニ開キテ再ヒ上手廻
 試行スヘシ若シ風輕微ニシテ風下ニ落ルト遅緩ナ
 ルキハ之レヲ助ケンカ為メヘッド、ヤードヲ鋭ク廻
 シ已ニ元ノテッキニ風ヲ含ミテ船前進ヲ始ムルキハ
 ヘルムヲ正中ニナシアフタル、ヤードヲ上廻シヘ
 ヤードヲ周廻シ時宜ニ由リヘルムヲ風上ニ取リス
 パンカルヲ引出シセイムヲ風ニ適合シテ廻轉ノ為
 メ充分ナラシメテ後再ヒ廻轉ヲ試行スヘシ
 其第二法ハ即チ船首ヲ風下ニ落シピールヲ廻リテ

他ノテッキニ潮ルモノニシテ船ノ回ハリ損ヒタル
 フ知ルヤ直チニフォール及ヒヘッド、シートヲ後引シメ
 インスル及ヒスパンカルヲ絞リアフタル、ヤードヲ
 直廻ス此時船後退スレハヘルムヲ風下ニ取リテ船
 ヲ風下ニ落スヘシ已ニ風下ニ落チテ前進ヲ始ムル
 キハヘッド、ヤードヲ直廻シアフタル、ヤードヲ他ノ
 キニ上廻シメイン、テッキヲ引下ケスパンカルヲ掛ケ
 ヘッド、シートヲ替ヘテ之レヲ弛メ船ノ風ニ潮ルヲ
 止メサル様ニナシ已ニ風他ノクオートルヨリ入来ル
 キハヘッド、ヤードヲ前方ニ次第ニ上廻シテ風ヲ含マ
 セフォール、テッキヲ引附ケ已ニ風エ、ピールヨリ来ルニ

至ラハヤ「ド」ヲ鋭ク上廻シ「ヘッド」シート「ラ」駢ト後引
シ「セイ」ル「ラ」風ニ適合シテ後「ボー」ライ「ン」ヲ張ルヘシ

風ノ急變或ハ舵負ノ怠慢ニ由テ裏帆
ヲ打チタル「ヒ」ルヨリ下手廻ハシ
ノ法

譬ヘハ船「ポ」ト「テ」キニ開キ走行ク「ヒ」風ノ急變或ハ
舵負ノ怠慢ニ由テ裏帆ヲ打チタル「ヒ」ハ「ヘッド」シート
ヲ風上ニ後引シテ「セイ」ルヲ緊張シ「メイン」スル及ヒ
「ス」パン「カル」ヲ絞リ而メ「ヘルム」ヲ上手ニ取ルモ其効
ナケレハ「ヒ」ルヨリ下手廻ハシヲナスヘシ即チ船

後退ヲ始ムレハ「ヘルム」ヲ下手ニ取り船風下ニ落ル
「ホ」ア「フ」タル「ヤ」ード「ラ」直廻シ而シテ風船尾ノ方ニ廻ハ
ラハ前ノ回復第二法ノ如ク運用スヘシ

運用良善ナラスシテ裏帆ヲ打チタル
片逆廻轉スル法

舵員ノ不熟練或ハ不注意ナルカ又ハ風向少變スル
カニ由テ船偶然風ニ逆對スル「ア」リ此時ニ方テ速
カニ之レヲ回復スルノ方便ヲ施サ「ル」ハ船忽チ航
進ヲ失ヒ不圖他ノ「テ」キニ廻轉スルニ至ル此ノ如キ
偶然ノ事起ルニ方テハ「ヘッド」シート「ラ」後引シ且ツ「ヘ

ルムヲ一杯ニ上手ニ取ルヘシ然レモ尚潮リテ風下ニ落チサレハメインスル及ヒスパンカルヲ絞リテ「ヘッド、ヤード」ヲ逆廻スヘシ「ヘルム」ヲ上手ニ取ルモ航進ノカナクシテ其効ナケレハ直チニ之レヲ正中ニナシ而メ後退ヲ始ムレハ直チニ之レヲ下手ニ取ルヘシ斯クノ如クシテ船頭已ニ風下ニ廻ハリ「アフタル、セイル」ニ風ヲ入ル、ト充分ナルニ至ラハ「ヘルム」ヲ正中ニ直シ「ヘッド、ヤード」ヲ周廻シ再ヒ「メインスル」及ヒ「スパンカル」ヲ掛ケ而ノ船舊位ニ復シ充分ノ航カヲ得ルマテハ再ヒ風ニ逆潮セサル為メ「ウェーザル」ヘルムニ注意スヘシ已ニ充分ノ航カヲ得タルモハ

風ニ應シテ適帆スヘシ

逆引法即チ下手小廻法

逆引法即チ下手ボックス、ホック小廻法ウエーザル、ウェーザルハ上手廻ヲ誤リタル片再ヒセイルニ風ヲ入レテ再ヒ試行スルカ或ハ通常ノ下手廻ヲ行フヘキノ餘地ナキ進退接迫ノ場合ニ臨ミ唯タ之レヲ施行スル而已譬へハ航行中船頭ニ方リ偶然危険ヲ發見スル「ア」レモ如何セン之レヲ避ケンカ為メ下手廻ヲ施スヘキ餘地ナク且ツ上手廻ヲ施サント欲スルモ果タシテ其功ヲ奏スルヲ保スヘキ目的之レナク此時ニ方テ船ヲシテ安全ナラシメ

シニハ運用中船ヲ風下ニ押遣ルヲ勉メテ少ク且ツ
最モ狭少ノ地内ニ於テ他ノ「テッキ」ニ廻轉スルノ方便
ヲ以テ最モ必要トナス斯クノ如ク接迫ノ場合ニ於
テ逆引法即チ下手小廻法ヲ撰用スヘシ即其法左ノ
如シ
「ヘルム」ヲ下手ニ取り「ヘッド、シート」ヲ弛メ且ツ「リ、ム
ド、ブレイス」ヲ弛メテ成ル丈ケ速カニ前進ノカラ挫
キ而メ「セイ」ル飄動セル片ハ「メイン」スルヲ絞リ儲船
頭風ニ逆對シテ殆ント其前進ノカラ失フタル片「ス
パン」カ「ル」ヲ絞リ「アフタル、ヤード」ヲ直廻シ「ヘッド、ヤ
ード」ヲ鋭ク逆廻シ「ウエーザル、ヘッド、シート」ヲ後引シテ「ヘッ

ド、セイ」ルヲ善ク緊張スヘシ己ニ逆廻ノ為メ船後退
ヲ始ムル片ハ先キニ風ニ溯ラシムル為メ「ヘルム」ヲ
下手ニ取りタルモ今ハ反對ノ作用ヲ起シ船頭ヲシ
テ風下ニ落サシム而シテ風船尾ニ廻リタル片ハ「ヘッ
ド、ヤード」ヲ直廻シ「フォール、トップ」スル及ヒ「フォール、コー
ス」ニ風ヲ入レテ船ヲシテ前進セシムル片ハ「ヘルム」
ヲ正中ニシ或ハ時宜ニ由リ之レヲ反對ニ取ルヘシ
己ニ風他ノ「クォート」ルニ廻ハリタル片ハ船ヲシテ成
ル丈ケ速カニ新「テッキ」ニ溯ラシムル為メ「ヘッド、シート」
ヲ弛メ或ハ時宜ニ由リ「ヘッド、セイ」ルヲ引下ケ「スパン
カ」ルヲ掛ケ「アフタル、ヤード」ヲ鋭ク上廻シテ「メイン

スルヲ掛クヘシ己ニ船風ニ据ハリタルキ「ヘッド、ヤード」ヲ上廻シテ「フォール、テック」ヲ引附クヘシ若シ「ヘッド、セイル」ヲ引下ケタルキハ再ヒ之レヲ引揚ケテ「シート」ヲ後引シ「ウエーザル、ヘルム」ニ注意シ而シテ下手廻ノキノ如ク適帆スヘシ

此法ハ風烈シク波高キキハ後退ヲ行フノ故ヲ以テ甚タ危険ナリトス

捨錨上手廻ノ法「ドリ、ラ、ブ、ホ」

強風ニ帆走シテ船風下ノ陸地ニ近寄リタルキ之レヲ離レント欲シ上手廻ヲ施サントスルモ怒濤激流

シテ之レヲ為シ難ク又逆引法ヲ施サントスルモ怒濤ニ向テ船尾ヲ壓衝スルキハ當ニ舵具ヲ破リ船ヲシテ危険ノ地位ヲ出ル能ハサラシムル而已ナラス又怒濤ノ為メニ船尾ヲ衝破セラル、ノ恐アリ斯クノ如キ危険接迫ノ場合ニ臨ミ船ヲシテ安全ニ上手廻ヲナサシメンニハ「スプリング」ヲ用ヒ捨錨上手廻ノ法ニ依ラサルヲ得ス其法左ノ如シ

上手廻ノ為メ凡ヘテ準備スル「ト」ニ注意シ深淺ヲ測知シテ繰出スヘキ「ゲ」ヲ「デッキ」ニ並列シ「リ、ト、エ」ン「コ」ルヲ投下スヘキ用意ヲナシ「スプリング」即チ「ラ」ー「ジ、ホーセル」ヲ「リ、ト、クォー」トル「ポルト」ヨリ繰出シ舷

ノ外側ニ沿フテ前方ニ送致シ之レヲエンコルノツ
 ングニ固定シビツトノ後方ニテ解脱セント欲スルシ
 ヤックルノ前ノ處ニ於テケーブルニスリツプヲ掛ケ而
 メシヤックルヲ解脱シエンコル及ヒケーブルノ端ニ
 ブーイヲ附シテ以テ後ニ再ヒ探求スル為メニ便ニ
 シ儲深淺ト繰出スヘキケーブルノ長サヲ見測リテ
 己ニ繰出セルラージ、ホーセルノ後部數尋ヲクオート
 ルポルトノ内ニ縮子置キ走出ニ差支ナカラシメ且
 ツ其ホーセルノ他ノ部ヲケプステニ巻キ置キ凡
 ヘテ準備整フタル片ハ上手廻ヲ施ス為メニ用意シ
 ヘルムヲ下手ニ取り常法ノ如ク上手廻ヲ施行スヘ

シ而メ船首殆ント風ニ逆對シテ其航カヲ失フタル
 片リ、エンコルヲ投下シ且ツアフタルヤードヲ周
 廻シケーブルヲ繰出シスリツプヲ滑脱スルノ用意ヲ
 ナス但シヘッド、ヤードハ逆廻シアルヲ以テ風下ニ廻
 頭スルノ助ケトナルヘシ船己ニ後退ヲ始ムル片ハ
 スプリングヲ緊張シテ之レカ為メ船ノクオートルヲ
 風上ニ止メ船頭ヲ風下ニ廻落セシム儲解脱ノ時機
 ニ近ツク片ハスプリングヲ用意シ己ニ船頭廻落シ
 且ツメインスルニ風ヲ入ル、ニ至ルキ好機會ニ投
 シテケーブルヲ解脱シヘッド、ヤードヲ周廻シスプリ
 ングヲ切斷シヘルムヲ正中ニ取り而メ後風ニ從テ

改訂船具運用考 卷五 海軍兵學 四 母軍兵學校

適帆スヘシ

踞蹶法

前後ノヤードヲ反對旋廻シ船ヲシテ進マス退カス
 一所ニ滞留セシムルノ業アリ之レヲ名ツケテ踞蹶
 法ト云フ此法ハ他船ノ来ルヲ待チ或ハ之レト説話
 シ或ハ深淺ヲ測量シ或ハ端船ヲ下ス等其他事故アリ
 テ滞留セン、欲スル時ニ應用スルモノナリ
 踞蹶法ニ二般アリ一ハアフトタルヤードヲ逆ニナシ
 一ハフォールヤードヲ逆ニナス而メ甲ハ之レヲビー
 グツ、ウイズ、ゼ、メイン、トップスル、ツ、ゼ、マーストト名

ツケ乙ハ之レヲビーブ、ツ、ウイズ、ゼ、フォール、トップス
 ル、ツ、ゼ、マーストト名ツク
 船全ク其前進ヲ停止センコトヲ欲セサルキハフォール
 及ビクロゼッキ、ヤードニハ風ヲ入レタル儘ニ為シ置
 キメインスルヲ絞リメイン、ヤードヲ逆ニ直廻シ即
 チヤードヲ逆ニ直廻ス而メフォースル、スパンカル及ビ
 シヲ掛クヘシ
 然レモ尚其前進ノ力ヲ停止セント欲スルキハクロ
 ゼッキ、ヤードヲ逆ニ直廻シフォースルヲ絞リ而メ
 ルムヲ下手ニ取ルヘシ斯クノ如クスルキハ風下ニ
 取リタルベルムト風ヲ含ミタルフォール、トップスル及

ヒスパンカルトニ由リテ船ハセイルノ飄動スル迄
 風ニ開キ終ニ前進ヲ失ヒ而ノアフタルヤードノ逆
 風ノ為メニ後退ス然ルキハ風下ニ取リタルベルム
 ノ為メニ再ヒ前ノセイル風ヲ含ム迄起ルナリ但シ
 風上風下ニ昇降スル際スパンカルトジブシートヲ
 弛引シテ宜シク之ヲ加減スヘシ
 ヘッドヤードヲ逆廻スルキハアフタルヤードハ其儘
 ニ風ヲ含マセ置クナリ斯クノ如キハアフタルセイ
 ルハ船ヲハイゼ、ワインドニ保タシメヘッドセイルハ
 船ノ前進ヲ停止スルモノナリ
 右ノ諸法中何レヲ用エルヤハ全ク其時ノ景況ニ関

係スヘシ唯タ一船ヲ以テ踟躕スルニハメイン、トップ
 スルヲ逆ニシ又溺者ヲ救助スルニハメイン及ヒミ
 ズン、トップヲ逆ニスヘシ
 二船會合スルキ風上ノ者ハメイン、ヤードヲ逆ニシ
 風下ノ者ハヘッド、ヤードヲ逆ニスヘシ其故ハ風上ノ
 者ハ他船ニ撞觸スルノ恐アル風下ノ廻落ヲナサス
 シテ容易ニ風ヲ入ル、トヲ得ヘク又風下ノ者ハ船
 頭ヲ逆廻シテ風上ノ船ヨリ離開シ得ヘキ為メニシ
 テ若シ俄然疾風等不慮ノ事件起ルキ風上ノ者ハ諸
 帆ヲ逆ニシテ後退シ或ハアフタル、ヤードニ風ヲ入
 レテ前進スヘク又風下ノ者ハアフタル、ヤードヲ飄

海軍兵學校 四六 海軍兵學校

動シテ風下ニ廻頭スヘキ為メナリ
 三船會合スル片ハ風上及ヒ中央ノ者ハ「メイン、ヤード」ヲ逆
 「ド」ヲ逆ニナシ風下ノ者ハ前ノ如ク「ヘッド、ヤード」ヲ逆
 ニナスヘシ斯クノ如クナシ若シ不慮ノ事件起ラハ
 風上ノ者ハ「アフタル、ヤード」ニ風ヲ入レテ前進シ中
 央ノ者ハ諸帆ヲ逆ニナシテ後退シ而シテ風下ノ者ハ
 前ノ如ク「アフタル、ヤード」ヲ飄動シテ風下ニ廻落ス
 ヘシ
 大小ノ二船踞蹯スル片小船ハ風上ニ位置セン「ト」ヲ
 要ス然ラサレハ風ノ功用充分ナラスシテ障害アリ
 艦隊整列シテ航行スルキ他艦ニ踰ヘテ速ナル者ハ

常ニ其位置ヲ保クシカ為メニ「セイル」ヲ減少スル而
 己ナラス屢「ミズ」ニ「トップ」スル「ト」ヲ逆ニナス「ト」アリ又「ロ
 ーヤル」及ヒ「トップ」ゲルンスル「ト」ヲ疊ムニ好ンテ踞蹯ス
 ル「ト」アリ
 右ニ述ヘタル踞蹯ノ諸法ハ「バ、イ、ゼ、ウ、イン、ド」ニ開キタ
 ル「キ」ニ之レヲ施行スルモノニシテ若シ船尾或ハ「ト」ヲ
 「ト」ルヨリ風吹来ル片ハ左ノ如ク之レヲ施行スヘ
 シ
 「コ」ス「ト」ヲ絞リタル後「ミズ」ニ「トップ」スル「ト」ヲ銳ク上「ト」シ
 「ベルム」ヲ下手ニ取り「ト」ヲ「キ」ル、モ、ウ、イン、ド」ノ「キ」ハ廻ハ
 「ト」取ル「ト」ス「パンカ」ルニ風ヲ入ル、ニ至ラハ之レヲ引

出シ而ノ「メイン、トップ」スルヲ直廻シ船尚風ニ開カハ
 「ヘッド、ヤード」ヲ上廻シ「ヘッド、シート」及ヒ「ヘルム」ヲ加減
 シテ以テ之レヲ處置スヘシ
 同上ノ場合ニ「ブール、トップ」スルヲ逆ニナシテ「跼蹶」ス
 ル法左ノ如シ
 「コー」スヲ絞リ「メイン」及ヒ「ミズ」ニ「トップ」スルヲ上廻シ
 「ヘルム」ヲ下手ニ取り「ヘッド、ヤード」ハ直方ニナシ置キ
 「ジブ、シート」ヲ風上ニ後引シ船前進ノ勢ヲ失ハサル
 前ハ「スペイン」カルブーム、シート「ト」ヲ弛メ且ツ「ヘルム」ヲ
 加減シ以テ上手ニ廻轉セシ「ト」ヲ防クヘシ
 「跼蹶」法ヲ要スルノ時ニ方テ若シ船疾走スルキハ「ト」

「プゲル」ニスル及ヒ「ローヤル」ヲ下タシ或ハ其「クリュー」
 ヲ引揚ルヲ良トス然ラサレハ此「ゼイル」逆ニナリタ
 ルキ前進ノ勢甚シキヲ以テ風ノ抗抵愈強ク之レカ
 為メニ「マースト」ハ「歴衝」セラレ「ステ」ヲ以テ之レヲ
 維持スルニ足ラサレハナリ

順廻盈風ノ法

「跼蹶」ノ業ヨリ再ヒ船ノ針路ニ從ヒ前進セシムルノ
 法アリ即チ「逆廻」ヲ變シテ「順廻」トナシ諸帆ニ風ヲ含
 マスル「ト」ニシテ名ツケテ之レヲ「順廻盈風」ト云フ
 「メイン、トップ」スルヲ逆ニナシタルキ元ノ針路ニ復セ

ント欲スル片ハ船開キ再々起キントスル時機ニ臨
ミ「ヘルム」ヲ正中ニ取り「ヘッド」シ「ト」ヲ後引シ「ホル
テッキ」ヲ引附クヘシ己ニ風下ニ起キタルキ「アフタル
ヤ」ト「ラ」上廻シ「メイン」スルヲ掛ケ而メ「コー」ス「ラ」風
ニ適合スヘシ

「フオール」ト「ップ」スルヲ逆ニナシタルキ盛風ノ業ヲ施サ
ンニハ「ヘルム」ヲ正中ニナシ「アフタル」セ「イル」ヲ飄動
セシメ「ジブ」シ「ト」ヲ後引ス己ニ風下ニ起キタルキ
「ヘッド」ヤ「ト」ヲ周廻シ「ヘルム」ヲ以テ加減シ而メ「コー
ス」ヲ風ニ適合スヘシ

改正船具運用教授書卷之五下終

